

国連災害情報事務所リリーフウェブ神戸オフィスの開所について

国連人道問題調整事務所（OCHA）は、世界の災害を24時間体制で監視し、インターネットを通じて情報提供するシステムを構築するため、ニューヨークとジュネーブに引き続き、神戸に新たに国連災害情報事務所リリーフウェブ神戸オフィスを開設するはこびとなりました。

ついては、同事務所の開所を周知するとともに、今後の活動に対する理解、協力を得るため、下記のとおり開所式を開催します。

記

1. 名称 国連災害情報事務所リリーフウェブ神戸オフィス 開所式
2. 日時 平成13年8月16日（木）11：30～12：15
3. 場所 神戸市中央区脇浜海岸通り1丁目5番1号（東部新都心）
国際健康開発センタービル3階 ひょうご国際プラザ交流ホール
（電話 078-230-0346（アジア防災センター））
4. プログラム
 - 11：30 開会
協定書署名
国連人道問題調整事務所（OCHA）・アジア防災センター（ADRC）
主催者挨拶
国連事務次長 大島 賢三、アジア防災センター長 伊藤 滋
来賓挨拶
内閣府大臣政務官 阪上 善秀
外務省国際社会協力部長 高須 幸雄
兵庫県知事 井戸 敏三
 - 12：10 テープカット
国連OCHA、アジア防災センター、内閣府、外務省、兵庫県
 - 12：15 閉会
5. 参加者
国連、内閣府、外務省、兵庫県等約70名
6. その他
撮影は随時可。
閉会后、12時15分頃から記者会見を予定（12時30分まで）。

連絡・問合せ先
内閣府参事官（災害予防担当）付
中川、村上
電話 03（3501）6996

国連災害情報事務所 リリーフウェブ 神戸オフィスについて

国連人道問題調整事務所（OCHA）は、日本政府の「国連人間の安全保障基金」及び施設提供等の支援のもと、人道及び災害情報を世界にインターネットを通して提供する国連災害情報事務所リリーフウェブを神戸に開設することになりました。

神戸オフィスが開設されることによって、ニューヨーク、ジュネーブのオフィスとともに、24時間体制で最新の災害情報を世界に提供する体制が整うことになります。また、神戸オフィスは、アジア太平洋地域での情報交換を促進することにより、災害防止、緊急援助・人道支援の強化に役立つことを目指します。

リリーフウェブとは

リリーフウェブは、各国の資金援助により進められている国連のプロジェクトで、1996年より活動しています。その任務は1997年の国連総会決議（54/194）により、「人道援助を行う国際社会の対応強化に、迅速且つ正確な関連情報を提供することによって貢献する」と定義されています。

ReliefWeb
Serving the information needs
of the humanitarian relief community

Wednesday, Aug 8

www.reliefweb.int Home Search Site Map Contact Help IRIN OCHA

Latest Updates

- Complex Emergencies
- Natural Disasters
- By Country

Background

- Financial Tracking
- UN Appeals
- Map Centre

OCHA On-line

IRIN

NEW Map Centre

Headlines

- India Floods
- Russian Fed. - Chechnya
- Afghanistan
- Great Lakes
- Balkans
- West Africa

Highlights

- Symposium on Best Practices in Humanitarian Information Exchange
- Protection of Civilians in Armed Conflict
- Final Reports of the ECOSOC Humanitarian Affairs Segment
- OCHA in 2001 - Activities and Funding Requirements

Resources

- Directory of Humanitarian Organizations
- Humanitarian Vacancies
- Library (reference documents)
- UNDAC - INSARAG
- Virtual OSOCC
- Emergency Telecommunications
- ReliefWeb via Email
- Early Warning
- Humanitarian Training
- OCHA Central Register
- About ReliefWeb

Caritas Internationalis - One million USD needed for Poland flood relief

Macedonia political deal falters at final hurdle

Special Report: FAO/WFP Crop and Food Supply Assessment Mission to Tajikistan

Somalia: IRIN interview with Randolph Kent, UN Resident and Humanitarian Coordinator for Somalia

ReliefWeb is a project of the United Nations Office for the Coordination of Humanitarian Affairs (OCHA).

リリーフウェブのアドレス <http://www.reliefweb.int>

現在では、国際人道・災害援助に関わる様々な機関から、自然災害や紛争災害に関する総合的な情報源として最も信頼されており、月平均 1,000 万件以上の利用を記録しています。

利用者の 70% は、実際に人道援助に携わっている国連および政府関係者、非政府人道団体、研究者で、世界 130 カ国以上にわたっています。

リリーフウェブが提供する情報

リリーフウェブは、国連人道問題調整事務所が関わる自然災害および紛争による被害に対する国際人道援助について、現地の状況、ニーズ、国際緊急援助の実施状況、援助金の使途等の情報を、600 以上の関係機関から集め、最新情報を即座にホームページに掲載しています。

ホームページ上で常に更新される自然災害、紛争災害報は 40 件にもおよび、一日で 100 件以上の情報が更新されています。

また、援助政策担当者が適切な指示を出せるよう、援助実施状況などの文字情報ばかりではなく、被災地区に関する 2,000 以上の様々な地図など、包括的な情報が、リリーフウェブのホームページから即時に検索出来るようになっています。

さらに、こうした情報はデータベースに保存されるため、ホームページからは 1981 年以降に国連が関わってきた 15 万件以上の災害に関する情報を、国別に検索することができます。このため、研究者や政策担当者にも頻繁に利用されています。

インターネットを超えた情報発進をめざして

現在、すべての人がインターネットに接続できるわけではありません。また、自然災害の被災現場では、電話回線が不通になることもあり、インターネットの利用が困難になる場合もあります。

こうした状況に対応するため、リリーフウェブでは、近年、衛星通信等による電子メールを利用した情報発信にも力を入れています。昨年より開始した電子メールによる情報提供サービスに登録すると、インターネットに接続していなくても電子メールがあれば、必要な情報を取得することができます。

被災者のニーズに沿った援助を迅速かつ効果的に実施するためには、こうした情報が援助政策担当者にとって不可欠であることは、国連の長年に渡る経験から明らかです。神戸オフィスの開設によって、リリーフウェブはまさにグローバルで 24 時間更新される人道・災害情報源となります。